



## 親の心 子知らず ～受験シーズンを迎えて～

校長 能登 敬久

今年は雪虫が一斉に舞う光景を見ていないような気がしますが、樽前山はいつの間にか雪のベールで覆れていました。11月には対面とオンラインによる進路説明会を新しくなった校舎の雰囲気味わっていただきながら開催しました。冒頭の挨拶では、保護者の皆様に、お子様の自立に向けて自己決定できる支援をお願いしました。自分の生き方は、最後は自身の意志で切り拓かねばならないという経験から学んだ思いも込めています。

私の最初の入試も15才の時でした。12月の三者懇談では、私立で一番行きたいと思った高校を併願受験し、当時の学力では難しい公立高校を第一志望であると伝えました。それまでの私の学習成績では“合格は厳しい”と判断されていたようで、懇談の翌日には学年主任の先生を交えての四者懇談まで開かれ、志望変更の助言を促されました。

学年主任の先生から「後悔」という文字を書いてみなさい。合格は厳しいがそれでも受験しますか?と聞かれ、私は後悔という字を書いて「やってみます。」と返答しました。10月からは1日5時間を目標に深夜ラジオを聴きながら勉強をしているという根拠のない自信もあったと思います。

私立高校を合格した2月は、私の父の2度目の国立がんセンターでの手術入院の時期でもありました。母は辛い思いを包み込み、仕事と見舞いを続けながら生活を支えていました。そんな母の姿に私は心を配ることもなく、また父の苦しみにも気持ちを向けずに手術の日は過ぎていきました。

そして、2月末の公立入試の日を迎えました。数学、社会のテストはいづらかできましたが、昼食後の理科の試験時間にお腹が痛くなって途中退席しました。五教科を何とか終えましたが、抜群にできたという実感はありませんでした。

合格発表の日、友人から一緒に見に行こうと誘われましたが、一緒には行きませんでした。何度も何度も合格発表の掲示板を見ましたが、私の受検番号はありませんでした。約6<sup>キロ</sup>の道のりを2時間くらいかけて歩いて帰りました。ドアを開けると母と祖母が玄関に走ってきて、私は「合格してなかった」とかすかに伝え、中学校へ結果報告と意思確認に向かいました。

その時は自分が多くの人に気にかけているとか、心配されているなどと考える心を全くというほど持ち合わせていない子供で、ただ自分の第一志望高校を突破することにいっぱいでした。人のせいで失敗したとかできなかったということが嫌いな性分もあったのかも知れません。

努力は叶わないことがあることを中学校時代に部活でも高校受験でも味わいましたが、卒業式を終え、いざ新しい高校の制服を買いに行く頃を過ぎてからは、晴れやかな気分で入学式を迎えられていました。高校では勉強を遠ざけていましたが、部活を中心に青春を謳歌しました。

教員になり、受験期を迎えると必ず思い出す場面があります。中3の1学期のことだったでしょうか。夕食時に「第一志望高校をどうしようか」と母と言ひ合いになっていた私に父が発した言葉があります。「お前の行った学校が一番に決まっている。」その時はその意味がよくわからなかった私ですが、この言葉を大切に今も受験生と向き合っています。そういえば、公立入試の英語問題で、I will be a teacher. と答えたように記憶しています。早いもので、もう師走です。

## 後期生徒総会開催



11月8日(火)、生徒会新執行部の運営による生徒総会が行われました。ロの字型の着席、中央部を質問場所とした会場で、全員が注目、集中する中、各常任委員会や会計等についての議事が進行されました。生徒の一人一人が今の自分たちの生活に関心を持ち、よりよい学校づくりに向けてさらに意識を高め、判断や行動ができる生徒へと成長していったほしいと願います。

後期生徒会  
スローガン



## 生徒会執行部による朝の挨拶運動



12月に入り気温もぐっと低くなり本格的な冬の到来を感じるようになりましたが、生徒会執行部による朝の挨拶運動が寒さに負けじと行われています。登校してきた生徒たちも、すがすがしい挨拶で迎えられ、元気や勇気をたくさんもらっていることでしょう。こうした身近な取組やかかわりこそ大切にし、積み重ねていきたいものです。

## 1, 2年生合同講話



10月に各学級で道徳「こころの授業」をしていただいた 様のご紹介により、岐阜県よりお越しいただいた 様に、11月10日(木)、1, 2年生を対象として合同講話をしていただきました。世界各国で子どもたちを見てきた経験から、「おもいやり」をテーマに、この心が人としての一番の基盤であり、人と人をつなぐ架け橋になるものであることや、反対に人としての悲しみは孤立、孤独であることなど、たくさんのお

話しをしていただきました。各事例についての丁寧なお話から、生徒たちもイメージを持って自分事として受け止め、深く考えることができているようでした。

## 1, 2年生リコーダー講習会



1, 2年生合同講話と同日に、リコーダー講習会も行われました。東京リコーダー協会から 様にご来校いただき、大小様々なリコーダーの紹介や演奏の披露、練習法などをお話いただきました。まるで語りかけているような演奏やきれいな音色が大変印象的で、生徒たちもよく聞き入っていました。

## テスト前学習会

今回も多くの生徒が各教科の教室に参加しました。自学教室の開催もあり、こうした学習会への参加生徒が多くなったように感じます。自ら学びを伸ばそうとする生徒の増加と全体への広がりにより、相乗効果としてますます学力向上へと繋がっていくことを期待します。



## 「冬のプランター」



6組の生徒により「冬のプランター」が生徒玄関正面に飾られました。鮮やかな色と淡い色の組み合わせがとても素敵です。ご来校された際にはぜひご覧ください。

## 「雑巾の寄付」ご協力をお願い

現在、学校での清掃用の雑巾が不足しております。学期末の大掃除では各教室とも特に必要になります。もしもご家庭で余っているものなどがございましたら1枚程度でかまいませんので、お子さんを通して寄付をしていただけますと大変助かります。何卒ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

